

事務事業評価(事前評価)シート【令和3年度】

主管課(担当名)	教育総務課(総務担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	中学校校舎等大規模改造事業	事業番号	12791

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-6	教育環境の整備
	施策目標	子どもたちが安心して学ぶことができる良好な教育環境が確保されたまち	

2 事務事業の目的

目的	根室市立小中学校適正配置計画に基づき、老朽化し耐震性のない柏陵中学校校舎を令和3年1月から旧根室西高等学校校舎へ移転したことに伴い、使用しなくなった旧校舎を解体する。
成果	老朽化が著しい旧校舎を解体することにより、暴風等による近隣への危険を回避することができる。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概 要						
	R1	旧柏陵中学校の校舎解体工事						
	R2							
	R3							
	R4							
	R5							
(単位:千円)		R1	R2	R3	R4	R5	総事業費	
事業費と内訳	事業費			195,583			195,583	
	内 訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債			174,300			174,300
		その他						
	一般財源			21,283			21,283	
人員(人工)								
職員費(人員×7,704千円)								
総事業費			195,583			195,583		
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R2)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	解体進捗率	0%	-	100%
			-	
			-	

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	令和2年度柏陵中学校が本事業により改修工事を行った旧根室西高等学校の校舎へ移転することにより、安心、安全で良好な教育環境の確保が図られたところであり、老朽化が著しい旧校舎を解体することにより、暴風等による近隣への危険を回避することができる。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 荒天の際に校舎の屋根等が飛ぶことが危惧されている。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 施設管理者としての責務であるため、市が実施主体となる。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 老朽化が進むにつれ、暴風などの災害時に近隣へ被害をもたらす確率が高くなるため。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 学校施設を適正に管理することは施設管理者としての責務であり、適切である。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 学校施設の維持管理については、施設の状況や適正配置計画に基づき計画的に進めており、公平である。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 老朽化が著しい校舎の解体は近隣への危険回避につながる。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 速やかに事業実施を図り、学校施設の適正管理に努められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 計画どおり本事業を実施し、学校施設の適正管理に努める。